平成30年度 第1回 議会報告会 の意見・提言・要望等

分野	内容・テーマ	報告会場	意見・提言・要望等	町からの回答
1 建設・都市計画	駅前整備	国府支所 保健センター	<p>大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業について、駅前を再整備しなくてはならない理由と目的がわからない。町民にとっては大きな問題であるので、町民の意見を聞いてほしい。</p> <p>A案、C案とも観光客に対しての考え方であり、町民の利便性を考えてほしい。両案とも使い勝手が悪い。送迎のため、たくさん車の車が行き来し停車もする。</p> <p>タクシーは駅前で待つ必要があるのか。通信体制が整っているので駅前で待たなくても良いのではないかと。</p>	<p>大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出事業につきましては、学識経験者、地元住民などにより組織する検討会議を設け、大磯駅前広場の現況分析や課題抽出、整備方針等を検討してまいりました。検討にあたっては、町民や駅利用者を対象にアンケート調査を実施し、安全・安心や利便性向上に対するご意見をいただきました。</p> <p>こうしたご意見を踏まえ、限られた駅前広場用地の中で、より良い対応策を検討し、平成29年度末に、2つの整備計画案（A案・C案）を立案しております。</p> <p>町といたしましては、町民等の安全・安心の早期確保等が求められていることから、時間や費用などを勘案し、今後はA案を基本として関係機関との具体的な協議やコスト縮減などの検討を進め、大磯らしい駅前広場の早期実現に取り組んでまいります。</p>
2 行財政	大磯港みなとオアシス	国府支所 保健センター	<p>大磯港に整備される賑わい交流施設の建設費用が過大にならないようにしてほしい。</p>	<p>大磯港みなとオアシス推進事業につきましては、平成32年度の施設の供用開始に向け、平成30年6月議会定例会での議決を経て、平成32年度から賑わい創出施設の管理運営を行う指定管理者を指定するとともに、賑わい交流施設の整備に向け、実施設計に着手しました。</p> <p>今後、施設的设计業務を進める中で、設計業者、指定管理者、関係機関等と連携しながら、経費を精査し、事業を進めてまいります。</p>
3 教育・子育て	図書館運営	国府支所	<p>図書館国府分館の蔵書を充実してほしい。蔵書の配架にも工夫を望む。多くの方に読む機会が増えるよう、予約方法や貸出冊数などを見直してほしい。</p> <p>また、図書館本館の駐車場から本館入口までの経路について、高齢者が楽に行けるように検討してほしい。</p>	<p>国府分館の蔵書約2万冊のうち、年間約1千冊を新着図書としており、本館の図書との入替えも逐次行っております。また、配架につきましては、テーマ別の展示替えを2週間から1か月の単位で行っております。今後も利用状況や他市町の事例も研究しながら、充実を図ってまいります。</p> <p>予約数及び貸出点数につきましては、過去に見直しを行い、利用可能点数を拡大しております。また、予約方法につきましては、利用者の利便性を高めるため、カウンターでの申込みのほか、館内検索機、電話、パソコンからも行えるようにしております。</p> <p>本館の駐車場から入口までの経路の短縮につきましては、植栽の伐採や駐輪場の縮小が必要となることから、整備は困難と考えております。</p>
4 建設・都市計画	県道整備	国府支所	<p>県道相模原大磯線の生沢西乃池橋交差点内の道路に陥没している所がある。何回も修復しているが根本的に問題があるのではないかと。</p>	<p>当該箇所は、小田原厚木道路大磯インターチェンジへのアクセス道路でもあるため、大型車両の通行が多く、特に県道の上り車線（国府新宿から北上する方向の車線）から左折する際には、車輪後輪部の荷重が大きく作用し、アスファルト舗装表面の凹みが何度か発生しております。</p> <p>現在まで、アスファルト合材での補修を行いながら経過観察をしている状況であり、他の材料による補修も検討しているところです。通行する方にはご迷惑をおかけしておりますが、引き続き、安全な通行の確保に努めてまいります。</p>

平成30年度 第1回 議会報告会 の意見・提言・要望等

分野	内容・テーマ	報告会場	意見・提言・要望等	町からの回答
5 行財政	町HP	保健センター	町のホームページは見にくい。見たいものを探しづらいしわかりにくい。	町ホームページは、平成25年4月から「見やすく」「使いやすく」「分かりやすく」をコンセプトとして、CMS（コンテンツマネジメントシステム）を導入し、職員が自らホームページの更新作業を行い、最新情報などの迅速な提供に心掛けております。 今後も、最新の情報提供に努めるとともに、利用者が町ホームページをより快適に閲覧できるよう、見やすいホームページづくりに努めてまいります。
6 建設・都市計画	下水道整備	国府支所	市街化調整区域には公共下水道は整備されないのか。市街化調整区域でも住居が多くある。事業認可区域の見直しはできないのか。 また、公共下水道の接続率を上げるために「融資のあっせん」や「奨励金の交付」などの制度のほかに「浄化槽廃棄の補助金」を交付したらどうか。	本町の公共下水道事業は、市街化区域の548.0haと市街化調整区域の一部である90.7haを合わせた638.7haを、全体計画区域として平成2年度から整備を進めています。 市街化調整区域の整備につきましては、国の基準に準じ、公共下水道による整備と合併処理浄化槽による整備との経済性などから区域を定めたもので、平成37年度の完成を目指しております。 なお、町の「融資あっせん制度」や「奨励金の交付制度」は、公共下水道への接続替え費用だけでなく、浄化槽廃棄処理など撤去費用も含み交付しております。
7 行財政	国交省への要望	国府支所	国土交通省の管理だということは認識しているが、国道1号線大磯中学校前付近の中央分離帯等の植栽管理が不十分である。外部の人は国土交通省の管理とは思わない。観光で歩いている人に町の印象が悪くなる。管理を徹底するよう国土交通省へ要望するべきである。	大磯中学校前付近の国道1号の植栽帯につきましては、道路管理者である国土交通省により、例年7月に草刈りが実施されております。 今年度においても、既に一部草刈りが実施されており、今後は高木剪定に着手する予定であると同っております。 今回の要望事項は既に国土交通省に伝えており、併せて今後も適切な管理が継続されるよう申し伝えております。